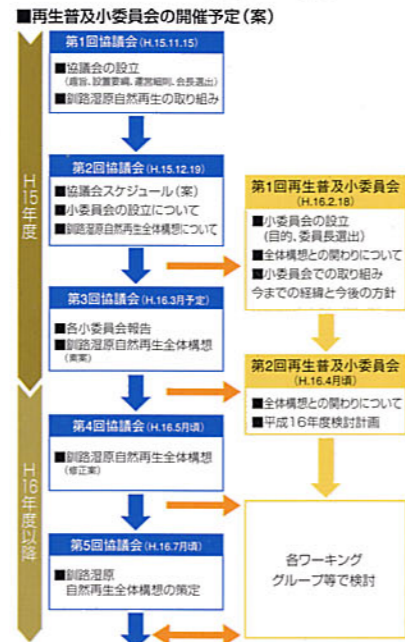


今後の調査・検討方針について

これまで「釧路湿原の河川環境保全に関する検討委員会」の「湿原利用小委員会」のもとに設置された3つのワーキンググループとひとつの検討会が本小委員会に引き継がれることになりました。「釧路湿原環境教育ワーキンググループ」は、引き続き環境教育資料作成、地域リーダー育成について、「釧路湿原保全と利用の総合ガイドマップ作成ワーキンググループ」は、引き続きガイドマップの作成について、「釧路川カヌーガイドライン策定ワーキンググループ」は、引き続きガイドラインの策定について検討します。新設のワーキンググループとして「10の提言」行動計画作成ワーキンググループの設置が承認され、提言に掲げられた事項の行動計画を作成することになりました。既設の「釧路川におけるトイレのありか



このようなことが話し合われました

- 委員長 ●委員 ●事務局
- 3つのワーキンググループ及び付属した検討会を継続し、検討を進めていきたい。また、新たに「10の提言」行動計画作成ワーキンググループの設置を提案したい。これら既存または新規のワーキンググループに新たに参画をしたい委員は3月末までに事務局へ申し出てください。
- 再生事業全体の全体構想を今年の夏ぐらいを目指して、まとめていきたい。優先度の高いものを柔軟に自分が事務局をやるんだというふうに提案して新しいワーキングをつくって、みんなを巻き込んでやっていくという形で新しい展開が出てくると思っている。

その他に話し合われたこと

このようなことが話し合われました

- 湿原再生ということが、農家にとっても1つの付加価値を高める意味をもっていることも含めて、普及という言葉に地域の価値を高めるといことが含まれていることを考えるべきではないか。
- 昨年9月に実施した釧路湿原21世紀の道ウォーキングについて、参加者は130名だったが、釧路湿原ですから今年こそ946人集めて、946(くしろ)人で釧路湿原を歩きたいなど。できるなら、釧路市の継続的な秋のイベントとして発展できたらいいと考えている。
- 釧路湿原全体の情報の整理・共有化は全ての小委員会に関わる重要なことだが、どの小委員会でも扱っていない。きちんと枠を設けるべきではないか。
- 本小委員会は、情報の共有化、発信、公開など、情報データベースを作り上げるといった作業については、一番責任を負うべきところではないだろうか。



釧路湿原21世紀の道ウォーキング(平成15年9月21日)

第1回 再生普及小委員会 [出席者名簿(敬称略、五十音順)]

●個人

井上 典子 [東京大学 先端科学技術研究センター 協力研究員]
江崎 秀雄 [森の学習塾 代表]
大山 仁美 [環境カウンセラー(事業者部門)]
金子 正美 [酪農学園大学 環境システム学部 地域環境学科 助教授]
新庄 久志 [釧路国際ウェットランドセンター 主幹]
高嶋八千代 [北海道教育大学釧路校 非常勤講師]
高橋 昭
高橋 忠一 [北海道教育大学釧路校 助教授]
橋 利器 [トラウトフォーラム 会員]
辻井 達一 [財団法人 北海道環境財団 理事長]
堤 宏宏 [株式会社スコーパ総合科学研究所 自然環境調査室 主任技師]
西村 旬司 [釧路湿原川レンジャー]
姪田 眞一 [北海道教育大学釧路校 助教授]

●団体

釧路国際ウェットランドセンター [書記/渡辺 哲也]
釧路自然保護協会 [会長/高山 末吉]
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会 [近藤 一雄美]
釧路生物談話会 [一條 信明]
釧路武佐の森の会 [会長/大西 英一]
くしろネイチャーゲームの会 [代表/渡部 清紀]
財団法人 日本鳥類保護連盟釧路支部 [宮崎 俊次]
さっぽろ自然調査館 [代表/渡辺 修]
特定非営利活動法人 釧路湿原やちの会 [佐藤 吉人]
特定非営利活動法人 トラストサルン釧路 [杉沢 拓男]
北海道中小企業家同友会釧路支部 [武田 佳朗]
ボランティアネットワークチャレンジ隊 [代表/佐竹 直子]

●オブザーバー

釧路商工会議所 [相談課長/加藤 裕美]
標茶町商工会 [事務局長/吉田 武]
鶴居村商工会 [中村 一馬]

●関係行政機関

国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 [治水課長 平井 廣幸]
環境省 東北北海道地区自然保護事務所 [所長/渡邊 綱男]
北海道 釧路支庁 経済部商工労働観光課長 [中村 順一]
北海道教育庁 釧路教育局 [原 徹行]
釧路市 環境政策課長補佐 [木村 俊宏]
釧路市 産業経済課長 [中野 正人]
標茶町 商工観光課長 [佐藤 啓一]
弟子屈町 環境対策課長補佐 [永田 等]

釧路湿原 自然再生協議会

再生普及小委員会

ニュースレター

編集・発行: 釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

発行日: 平成16年3月25日

No. 1



自然観察会



塘路湖でのカヌー



釧路湿原自然再生大会シンポジウム



植林風景(達古武地区)

平成16年2月18日(水) 第1回 再生普及小委員会が開催されました

■開催概要

「第1回再生普及小委員会」が平成16年2月18日(水)、釧路地方合同庁舎で開催されました。小委員会には36名(個人13名、団体12名、オブザーバー3名、関係行政機関8名)が出席しました。議事に先立ち小委員会委員の互選により委員長には高橋忠一委員(北海道教育大学釧路校助教授)が選出されました。議事は「1.全体構想と小委員会との関わりについて 2.これまでの調査・検討経緯 3.今後の調査・検討方針について」討議がなされました。

■再生普及小委員会とは

釧路湿原を再生し、次世代へ継承して行くために、平成11年9月「釧路湿原の河川環境保全に関する検討委員会」が発足し、平成15年11月には、これまでの取り組みをさらに効果的に推進するため「釧路湿原自然再生協議会」が設立されました。「再生普及小委員会」は、全体構想で定めることとなる再生目標達成に必要な

関連施策を検討するため、湿原再生、旧川復元、土砂流入、森林再生、水循環の各小委員会とともに設置されました。その目的は、「釧路湿原の適正な保全と利用の推進並びに自然再生を活用した環境教育、市民参加、情報の発信及び提供に関する事項等について協議することです。



第1回再生普及小委員会(平成16年2月18日)



第1回再生普及小委員会(平成16年2月18日)

資料の公開方法

委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページにて公開しています。

<http://www.kushiro-wetland.jp/>

ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。電話・FAX・Eメールにて事務局まで御連絡ください。

釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

TEL(0154)23-1353

FAX(0154)24-6839

[E-mail] info@kushiro-wetland.jp